

**効果概要:**平成30年の台風20号で被災した白山国立公園の避難小屋について、復旧と併せて屋根及び給水施設の強靱化改修を行ったことにより、令和4年8月の大雨の際は、避難小屋への浸水や給水施設の断水は発生せず、登山者の安全確保に貢献

府省庁名:環境省

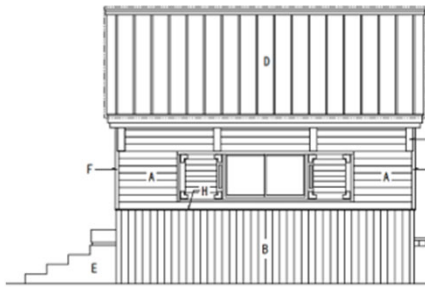
■ 実施主体:中部地方環境事務所

■ 対策の概要:避難小屋の屋根改修

老朽化した給水設備の改修

■ 事業費:約4,300万円

■ 屋根を平成30年台風20号並の強風に耐えられるよう、機能強化した仕様に変更して改修



屋根:ゴムアスファルトルーフィングの上、フッ素樹脂塗装ガルバリウム鋼板瓦棒葺き(芯木あり)軒先部分を芯木で押さえる

■ 避難小屋への安定的な給水のため、継手の改修にはストラブカップリング式(加圧時の配管の抜けに対して高水準の耐脱管性能を有する。)を採用し、給水環境を改善

※ 従前、避難小屋の給水管は、土砂等による目詰まりにより、継手が破損し、たびたび断水が発生していたことにも対応

屋根及び給水管の改修前後の様子

